

資料2_【参考資料2】令和4年度教職員へのアンケート結果

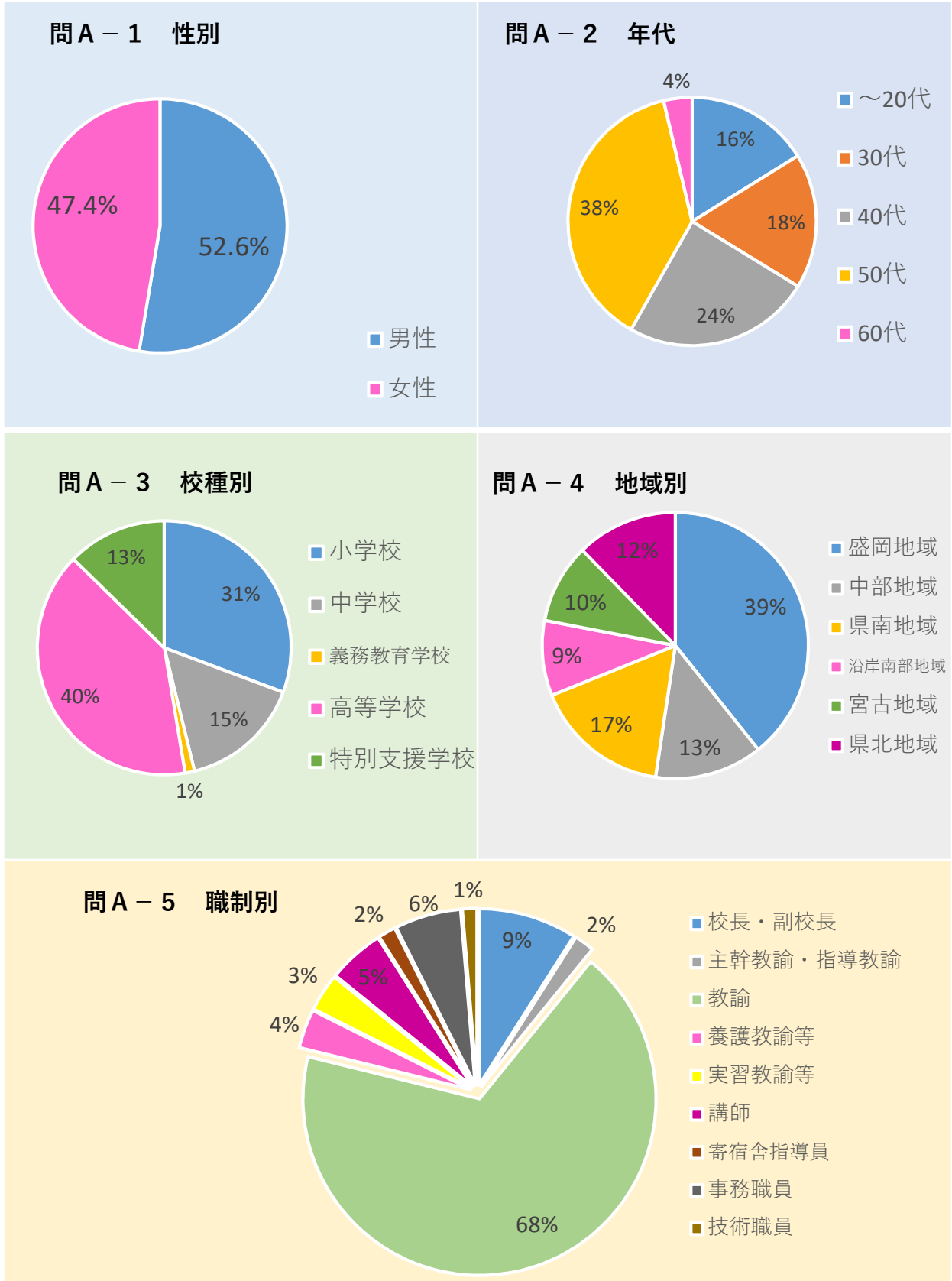
令和4年度 働き方改革に関する教職員へのアンケート調査結果

○調査期間：令和4年6月6日～7月30日

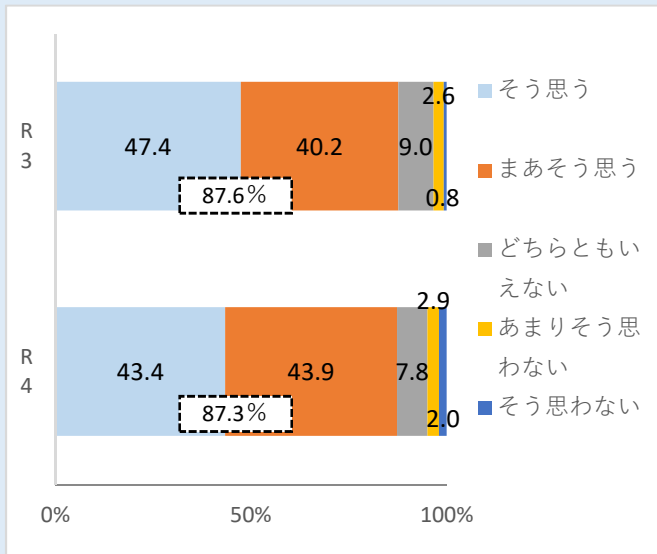
○回答数：756名（小中学校（義務教育学校含）358名、県立学校398名）

○回答率：81.3%（小中学校（義務教育学校含）74.6%、県立学校 88.4%）

※各アンケート項目の割合の合計は、端数処理により必ずしも100%にならない場合もあること

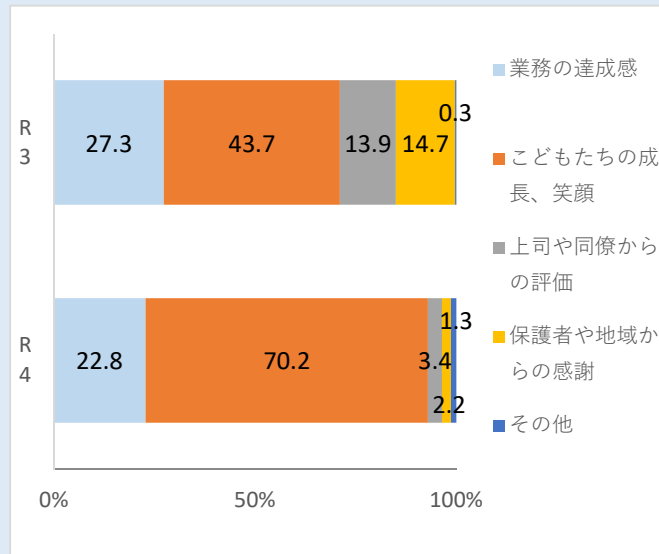


問B-1 現在の業務にやりがいを感じていますか【プラン目標】



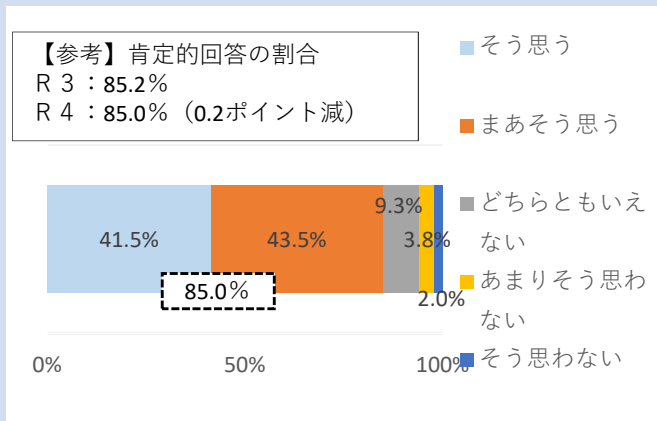
- 現在の業務にやりがいを感じている教職員は、「そう思う」「まあそう思う」の回答割合が87.3%と高い状況であるが、前年度比では微減している。(R3比0.3ポイント減)
- 校種別にみると、小中学校の方が県立学校よりも肯定的回答の割合が高い。

問B-2 どのようなときにやりがいを感じますか

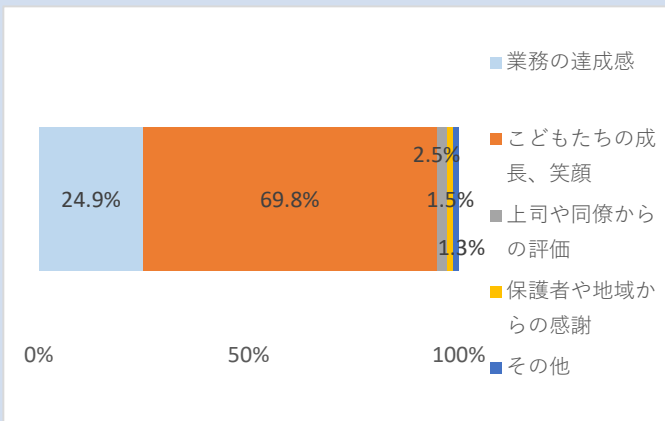


- やりがいを感じる場面としては「子どもたちの成長、笑顔」が約70%、「業務の達成感」が約23%と高い割合を占めている。
- 特に前年度比において、「子どもたちの成長、笑顔」が前年度より26.5ポイント大幅に増加している。

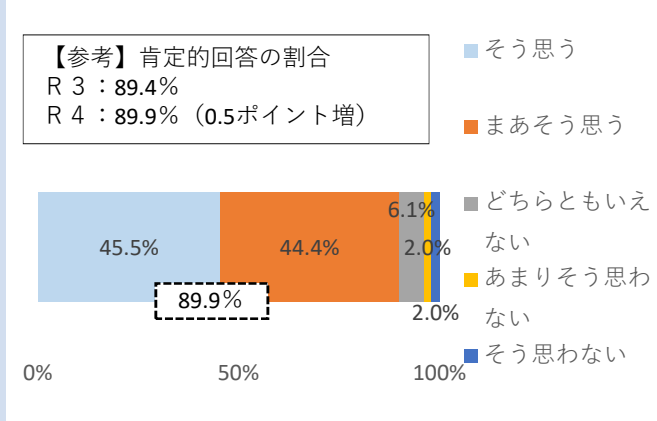
(R4内訳：県立)



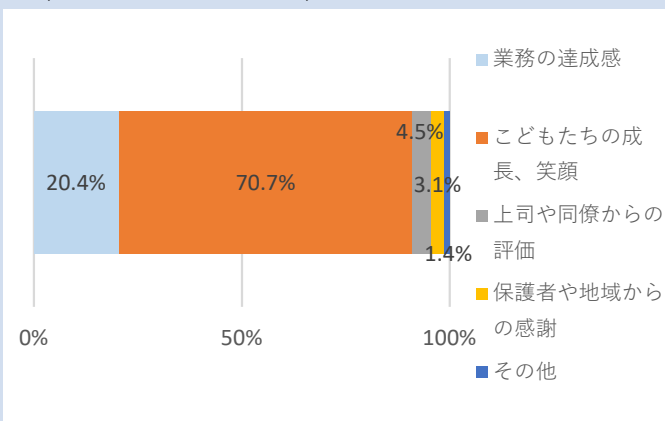
(R4内訳：県立)



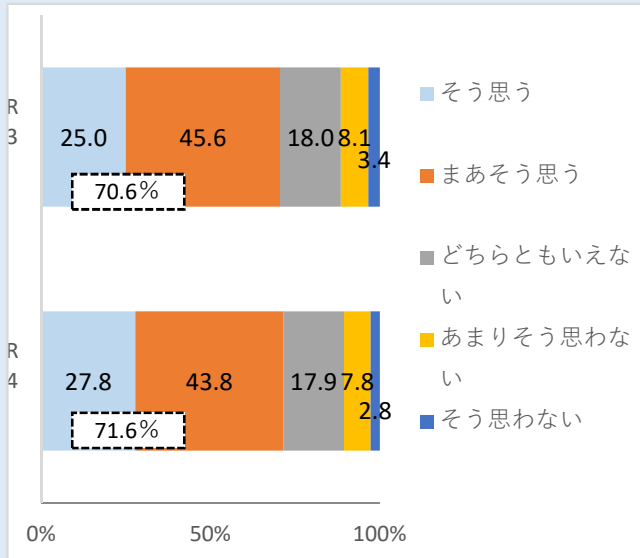
(R4内訳：小中 ※問B-7を除いて以下義務教育学校を含む)



(R4内訳：小中)

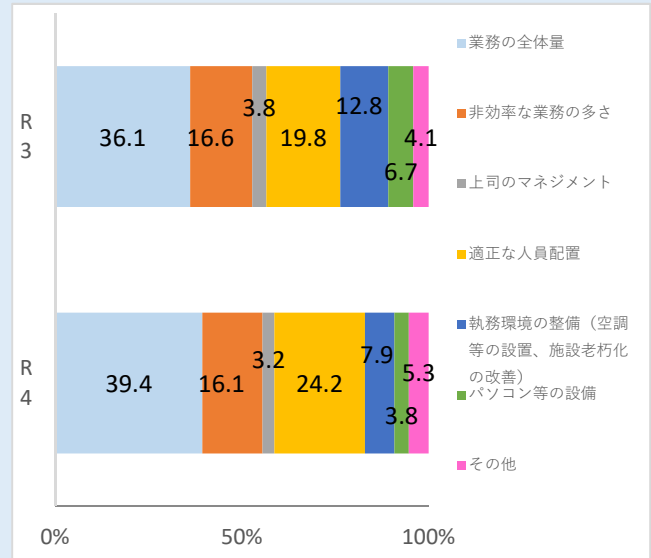


問B-3 あなたの職場は働きやすい環境だと思いますか



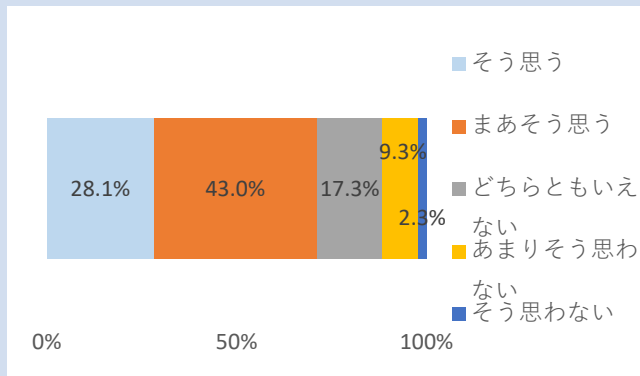
○ 職場環境については、約72%が働きやすいと感じており、前年度より1.0ポイント微増している。

問B-4 あなたの職場で最も改善してほしいものは何ですか

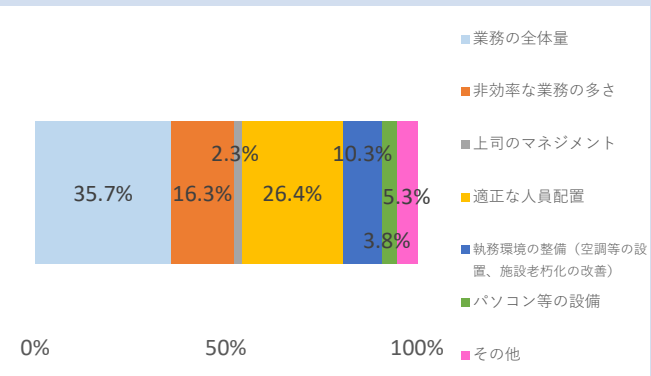


○ 職場の改善事項としては「業務の全体量」が約39%と一番多く、次に「適正な人員配置」が約24%と前年度と同様の傾向となっているが、それぞれ前年度よりも増加している。
 (「業務の全体量」 : R3→R4 3.3ポイント増)
 (「適正な人員配置」 : R3→R4 4.4ポイント増)

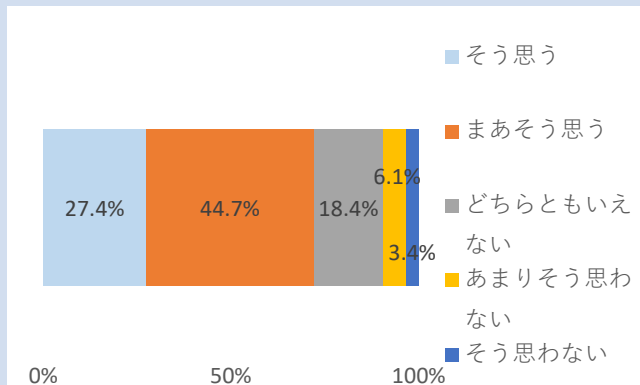
(R4内訳：県立)



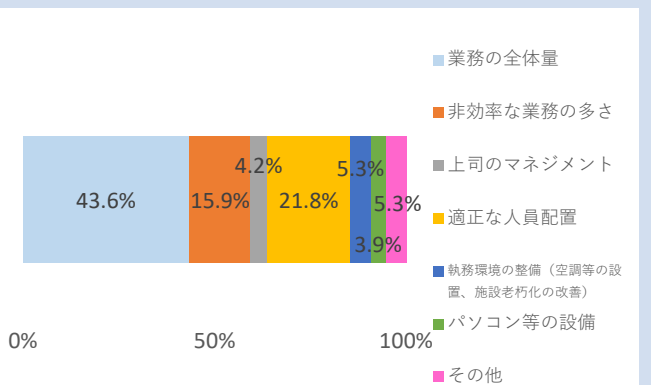
(R4内訳：県立)



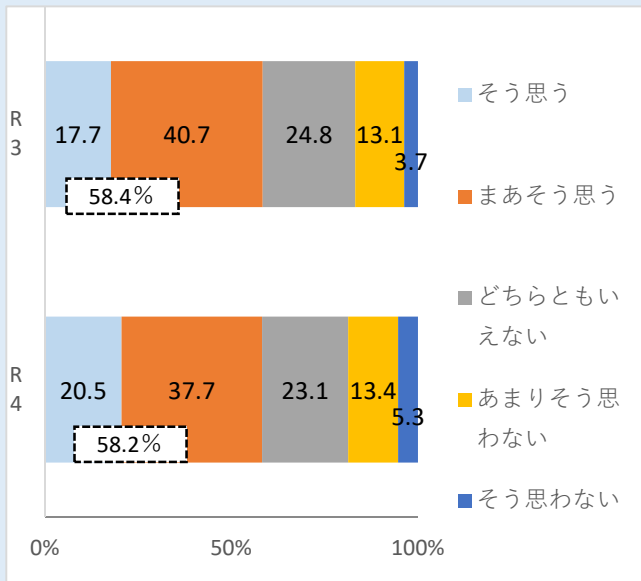
(R4内訳：小中)



(R4内訳：小中)

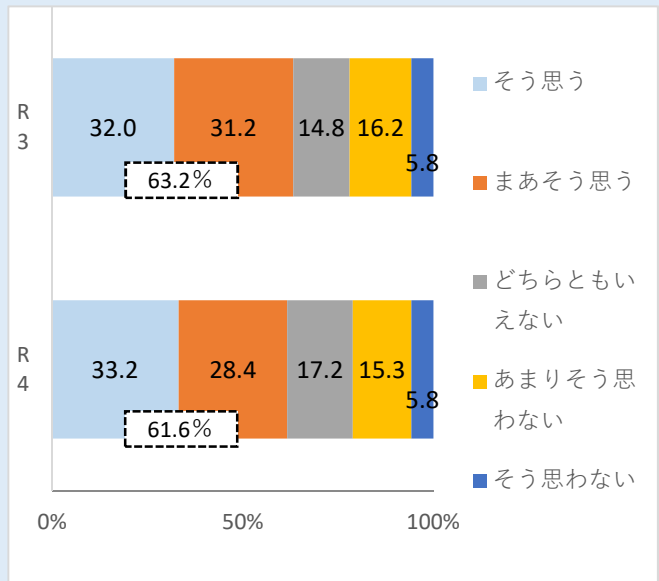


問B-5 授業や授業準備に集中できていると感じていますか【プラン目標】



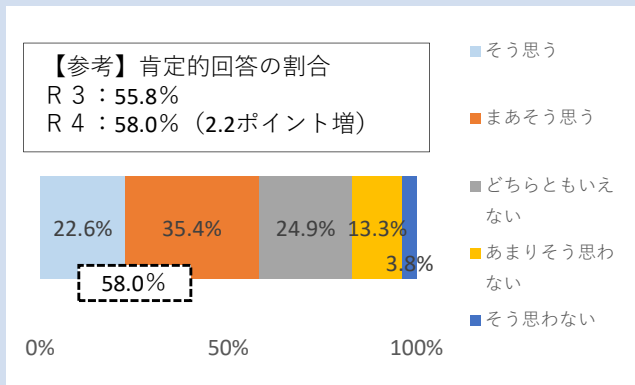
- 授業や授業準備に集中できていると感じている教員は、60%弱と前年度とほぼ同水準となっている。
- 校種別にみると、肯定的回答の割合は県立、小中とも同程度であるが、前年度比で、県立学校は微増、小中学校は微減となっている。

問B-6 時間外勤務時間が多いと感じますか

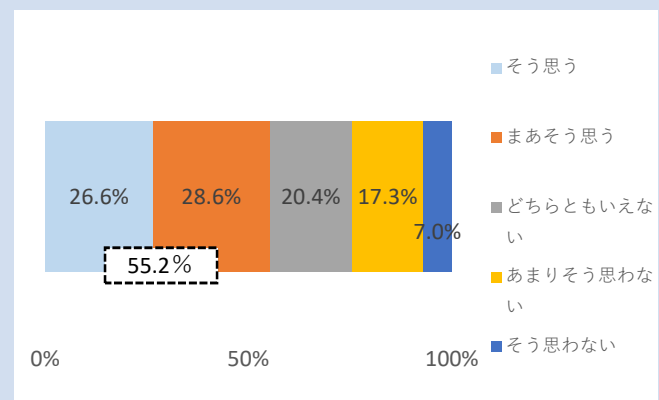


- 時間外勤務が多いと感じている教職員は約62%と前年度より微減している。
(前年度より1.6ポイント減)
- 上記教職員の校種別の内訳は、県立学校の教職員は55.2%であるのに対し、小中学校の教職員は68.7%と開差がある。

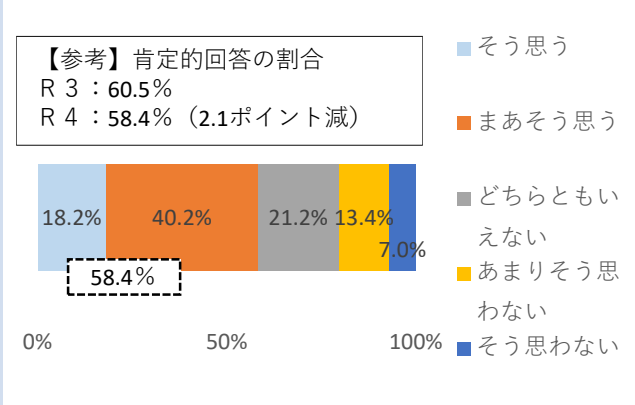
(R4内訳：県立)



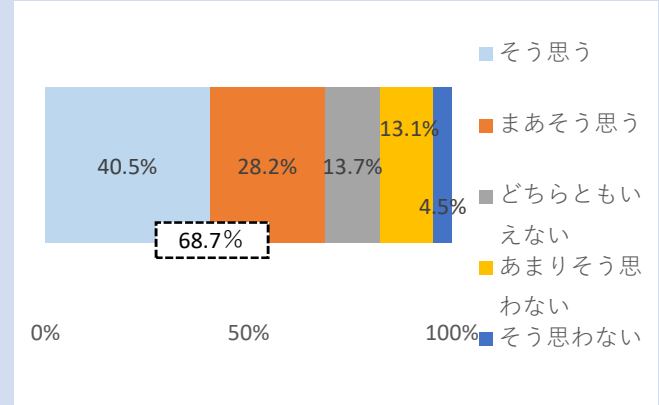
(R4内訳：県立)



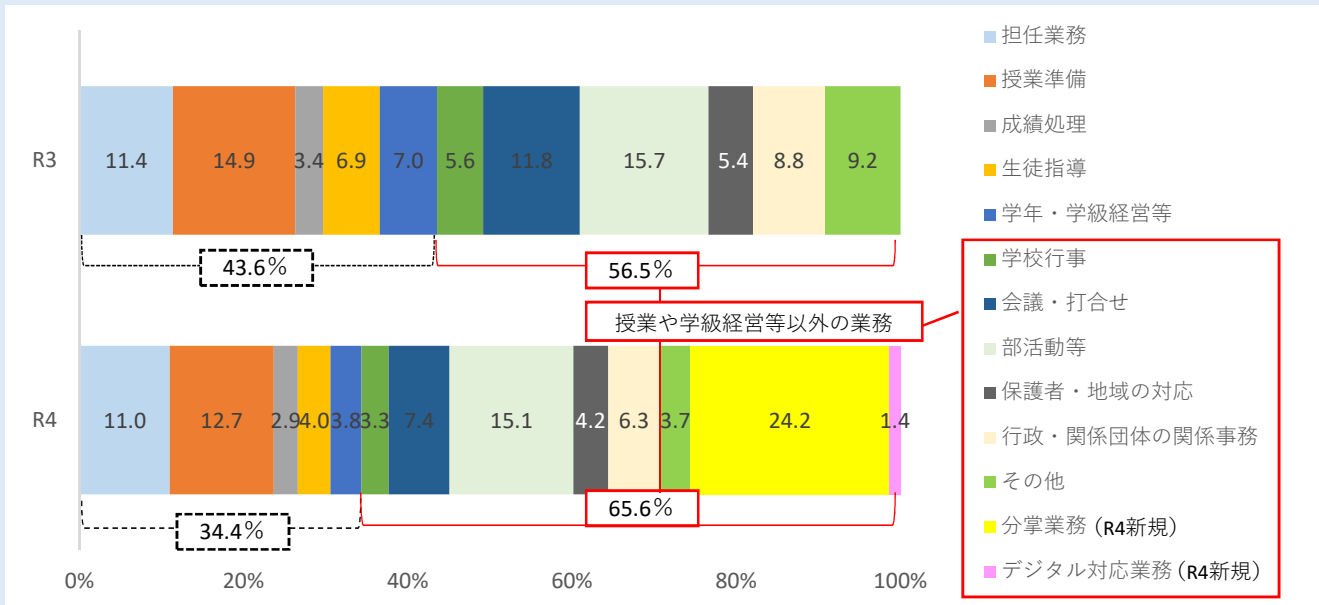
(R4内訳：小中)



(R4内訳：小中)



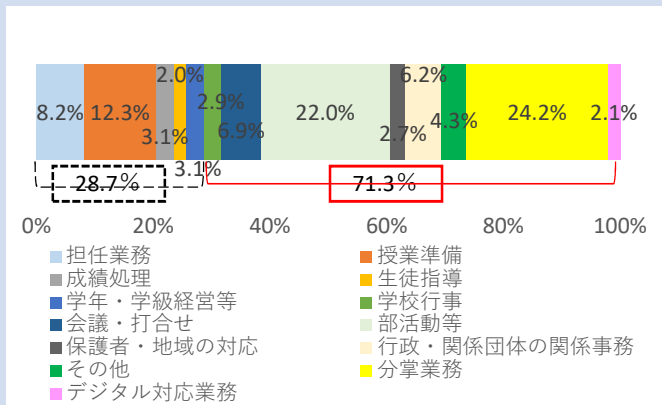
問B-7 時間外勤務の要因は何ですか



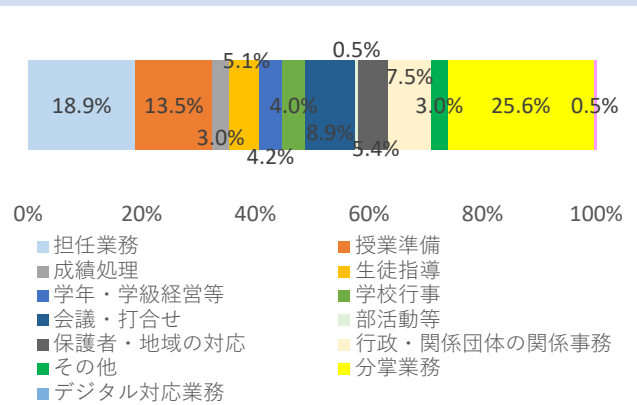
○ 授業や学級経営等以外の業務（学校行事、会議・打合せ、部活動、保護者地域等の対応、行政・関係団体の関係事務、分掌業務等）が約66%と高い割合を占めており、前年度よりも増加傾向にある。（前年度より9.1ポイント増）

○ 校種別にみると、時間外勤務の要因として、県立学校、中学校では「部活動」が高い割合を占めており、小学校では、分掌業務のほか担任意務の割合が多い。

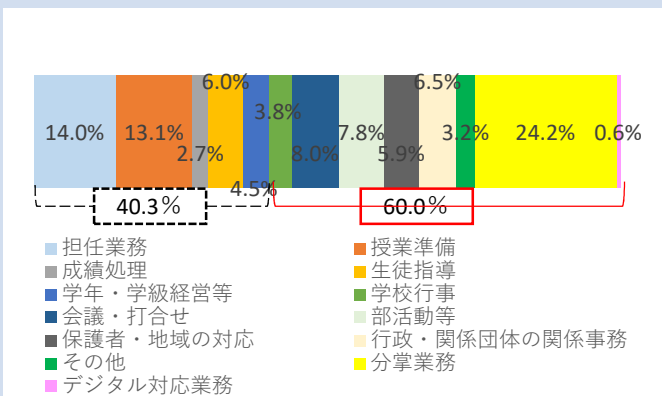
(R4内訳：県立)



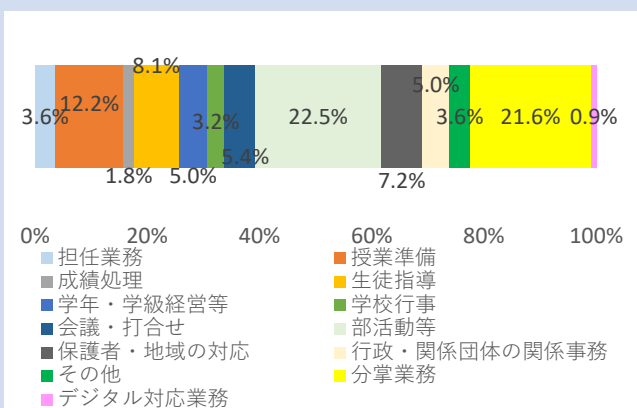
(R4小中内訳：小学校) ※義務教育学校除き



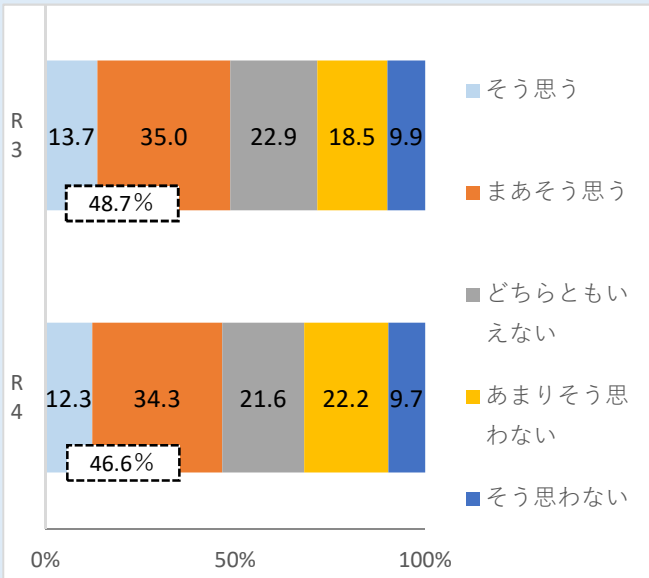
(R4内訳：小中)



(R4小中内訳：中学校) ※義務教育学校除き

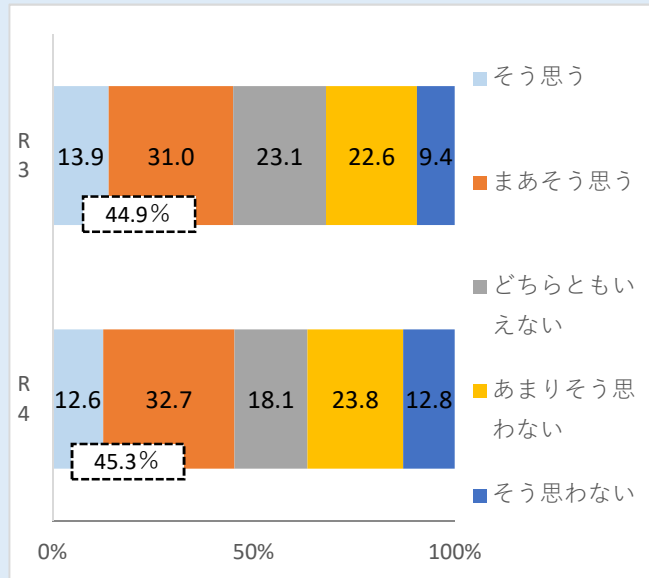


問B-8 自分の家庭のための時間を十分に確保できていますか



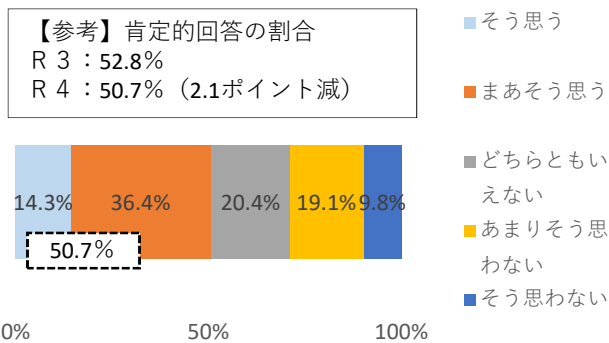
- 家庭のための時間の確保ができていると感じている教職員は、前年度より2.1ポイント前年度よりも減少している状況である。
- 上記教職員の校種別内訳は、県立学校の教職員が50.7%であるのに対し、小中学校の教職員は、41.9%となっている。

問B-9 自分自身の自由な時間を確保できていますか

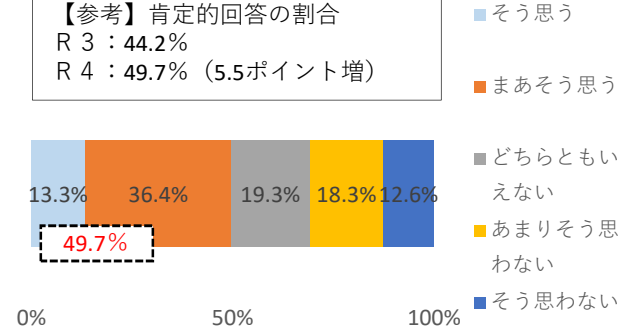


- 自分自身の自由な時間を確保できていると感じている教職員は、約45%と微増している。(前年度より0.4ポイント増)
- 上記教職員の校種別内訳は、県立学校の教職員が49.7%であるのに対し、小中学校の教職員は、40.2%となっている。

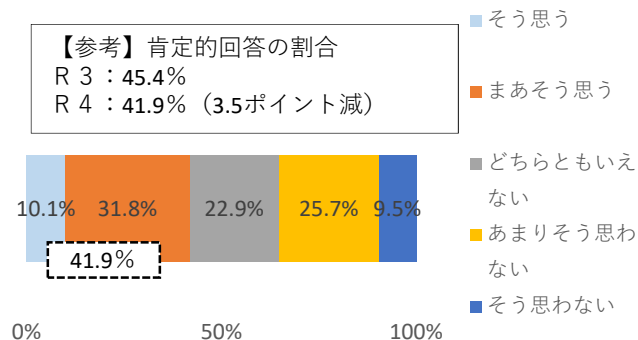
(R4内訳：県立)



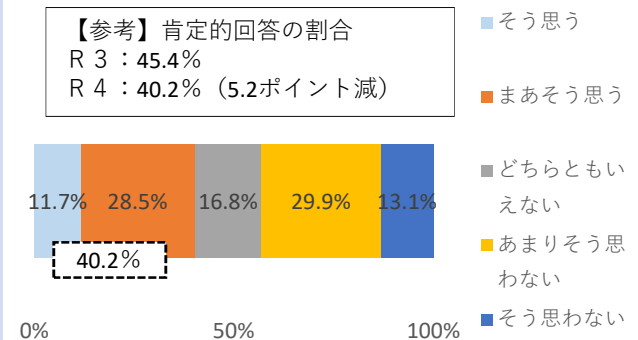
(R4内訳：県立)



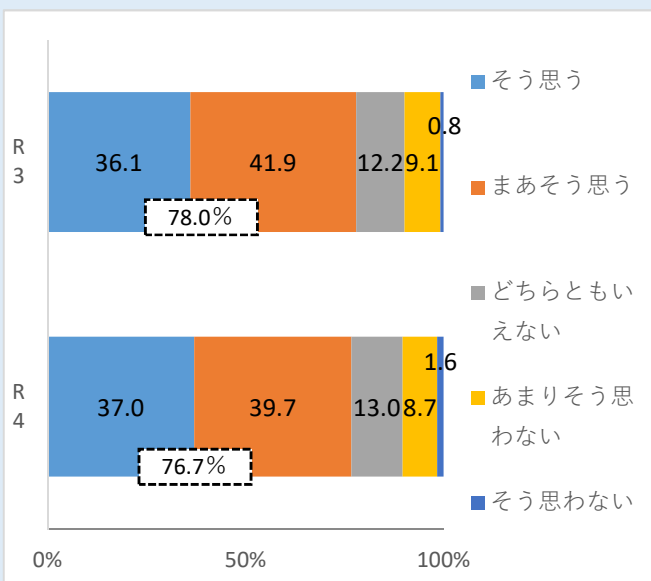
(R4内訳：小中)



(R4内訳：小中)

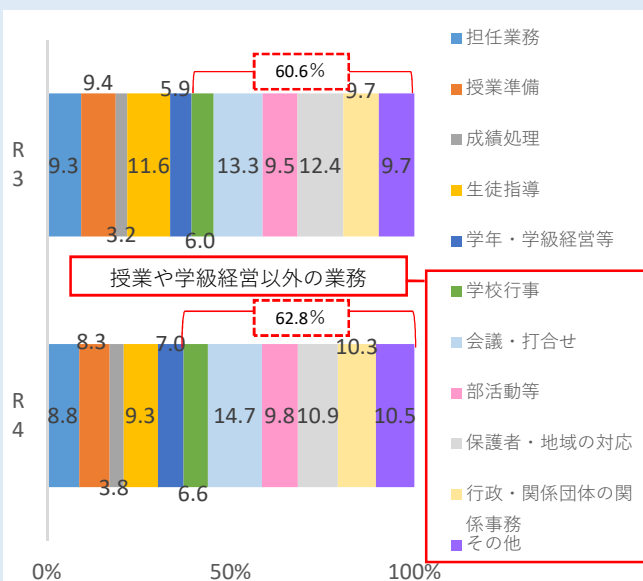


問B-10 日々の業務の中で、疲労感や焦燥感を感じていますか



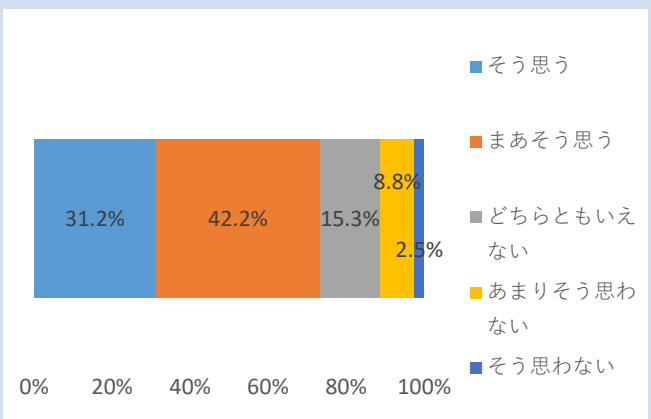
○ 日々の業務で疲労感を感じている教職員は、約77%と前年度から微減しているが、引き続き高い割合にある。
(前年度より1.3ポイント減)

問B-11 疲労感や焦燥感を感じるのはどのような業務ですか

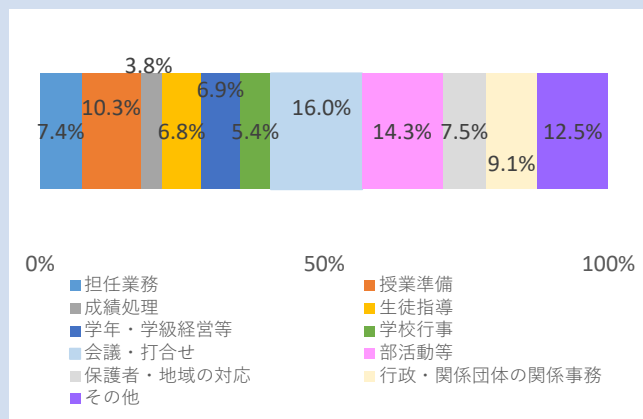


○ 疲労感や焦燥感を感じる要因としては、授業や学級経営以外の業務が約63%と高い割合を占めており、前年度より増加している。
(前年度より2.2ポイント増)

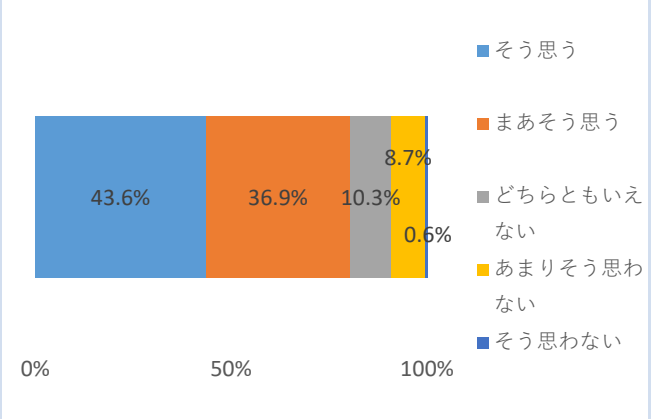
(R4内訳：県立)



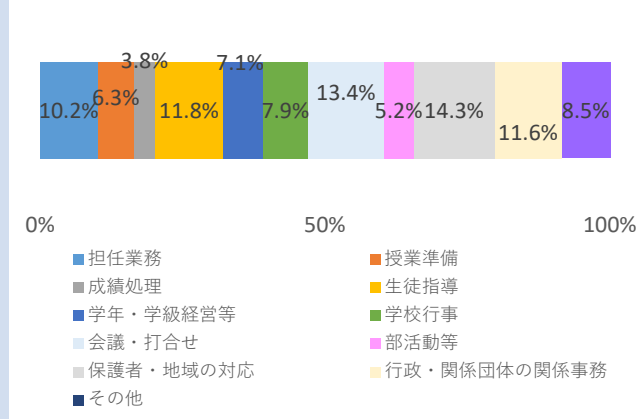
(R4内訳：県立)



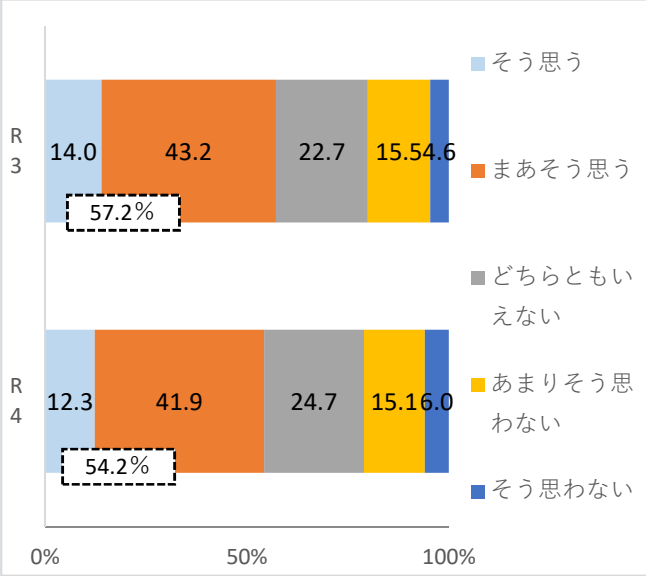
(R4内訳：小中)



(R4内訳：小中)

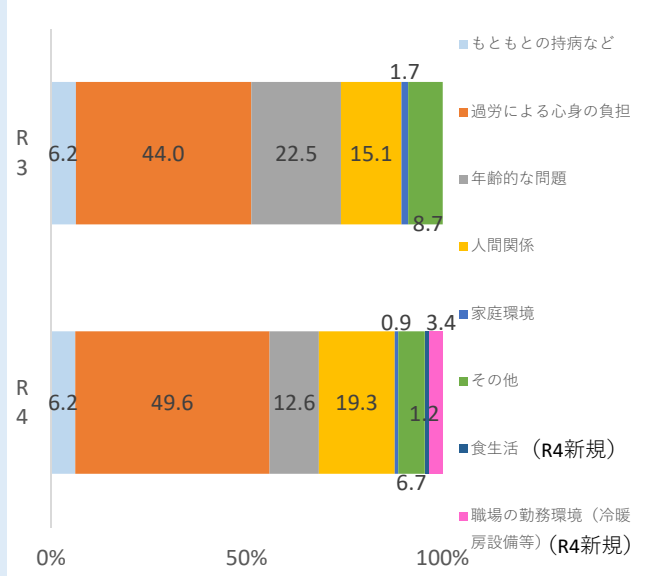


問B-12 健康でいきいきと業務ができていると感じていますか【プラン目標】



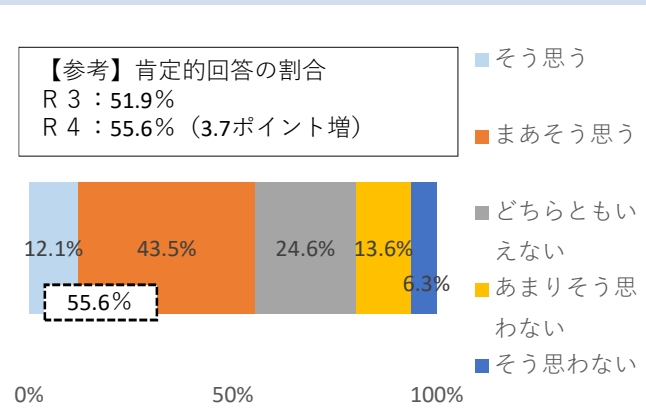
- 健康でいきいきと業務ができていると感じている教職員は、約54%と前年度より減少傾向である。（前年度より3ポイント減）
- 校種別にみると県立学校では前年度より増加しているが、小中学校では減少している。

問B-13 健康的に業務ができない要因は何ですか

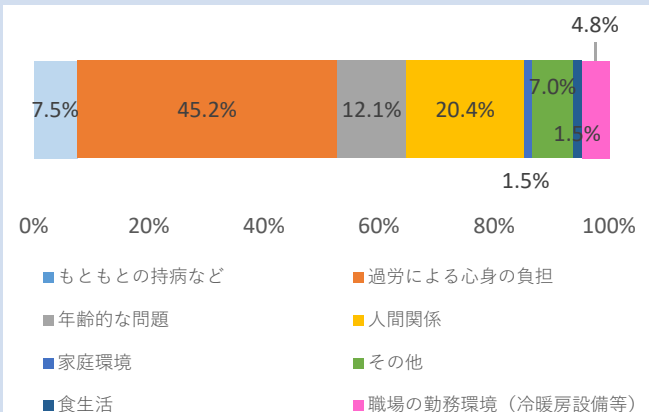


- 健康的に業務ができない理由としては、「過労による心身の負担」が約半数であり、次に「人間関係」が多い割合となっている。

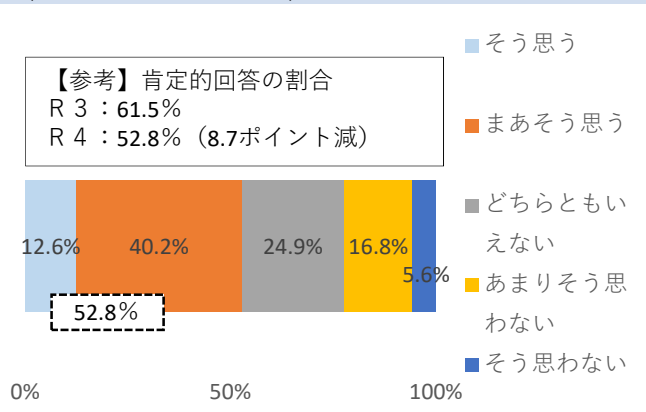
(R4内訳：県立)



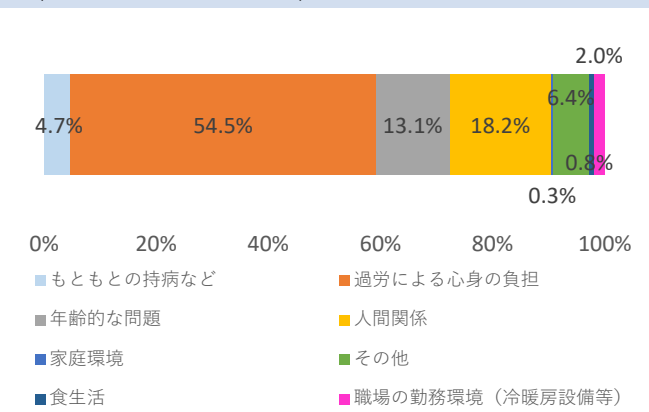
(R4内訳：県立)



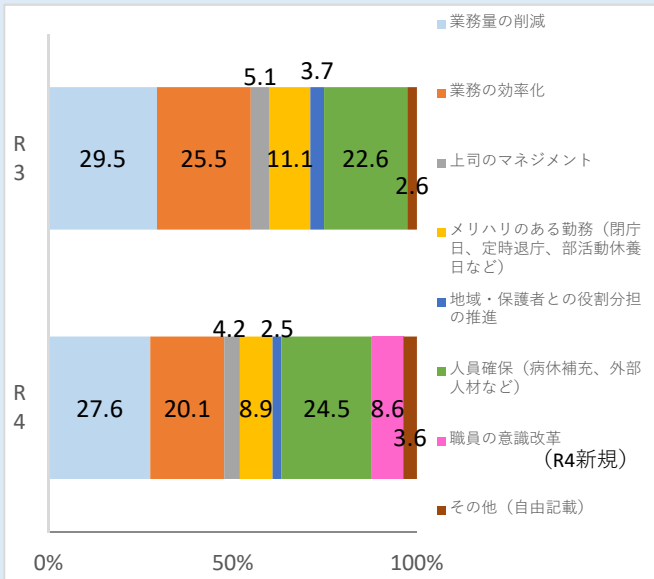
(R4内訳：小中)



(R4内訳：小中)

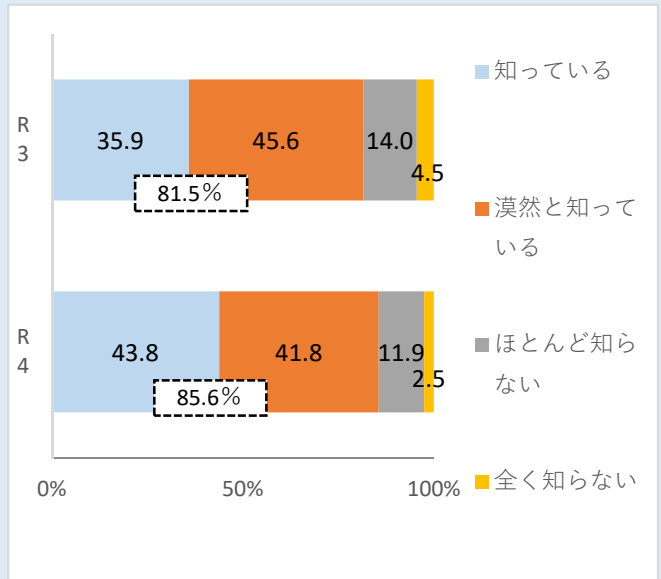


問B-14 時間外勤務を減らすためにはどのようなことが必要と思いますか



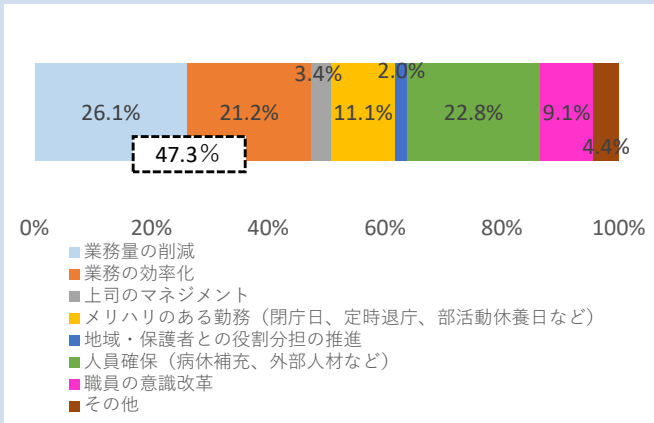
○ 時間外勤務を減らすために必要なこととしては、人員確保（約25%）のほか、業務量の削減が約28%、業務の効率化が約20%と、業務改善による負担軽減が引き続き求められている。

問B-15 県教委の「働き方改革プラン」を知っていますか

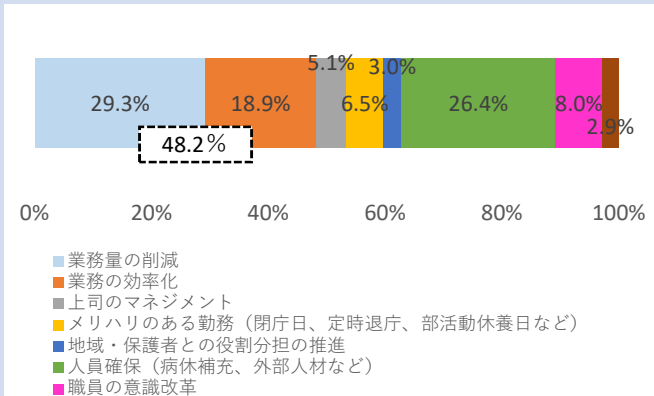


○ 約86%の職員がプランを知っている（漠然と知る場合を含む）としているが、1割程度が未だ認知していない状況であり、引き続き周知していく必要があること。

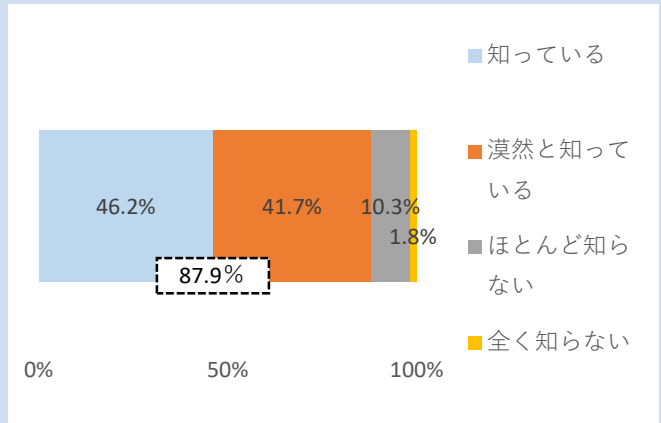
(R4内訳：県立)



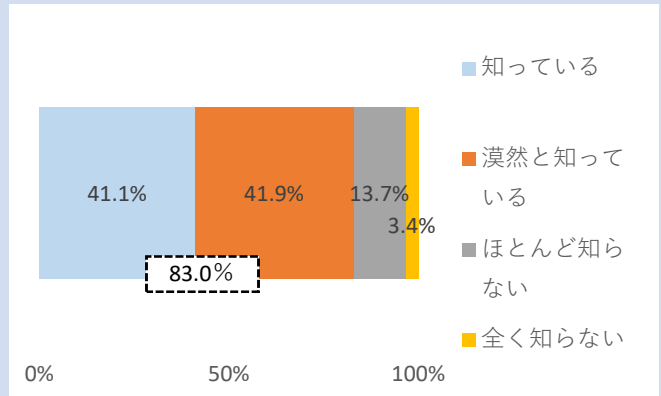
(R4内訳：小中)



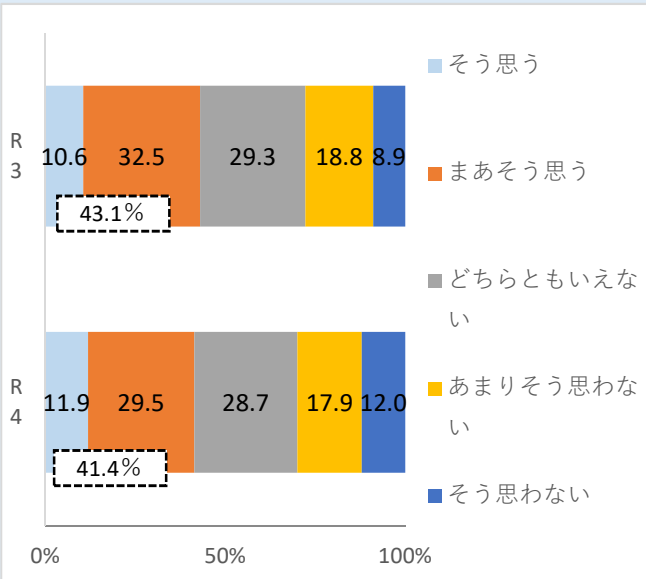
(R4内訳：県立)



(R4内訳：小中)

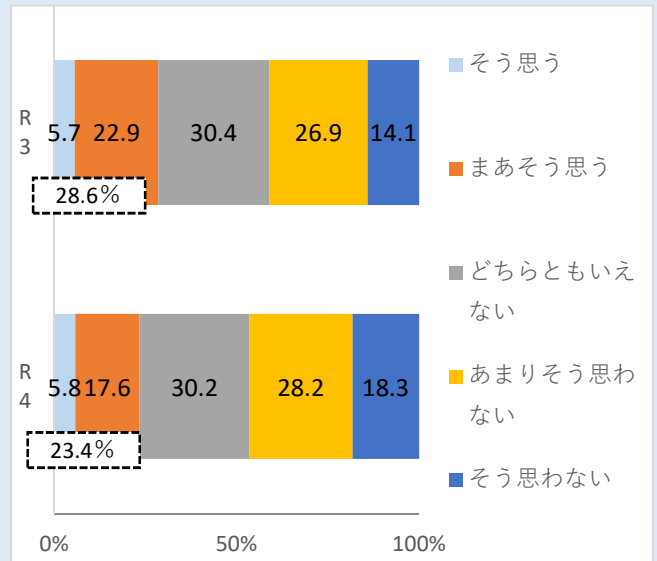


問B-16 あなたの職場において、働き方改革の取組が行われていると感じますか



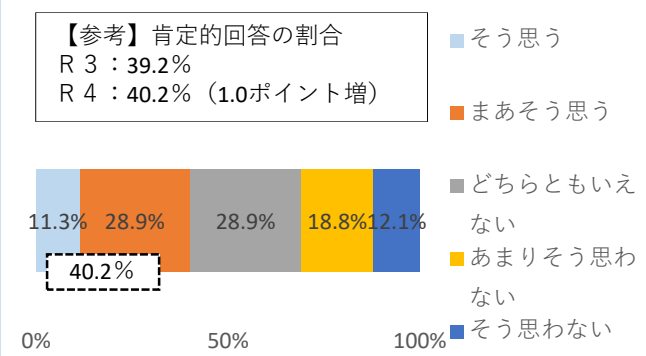
- 職場における取組が行われていると感じる割合は、4割程度にとどまっており、未だ働き方改革の取組に課題がある状況。（前年度より1.7ポイント減）
- 校種別にみた肯定的回答の割合は、小中学校の方が若干高い。

問B-17 (プランを策定した) 令和3年度以降、職場の負担軽減が進んでいると思いますか

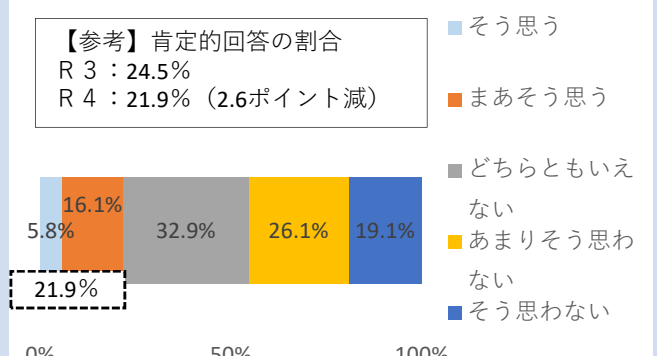


- 職場における負担軽減を実感している教職員の割合は、約23%程度と低く、プラン策定2年目における取組効果が、学校現場において発現されていない。（前年度より5.2ポイント減）
- 肯定的回答の割合を校種別にみると、県立学校よりも小中学校の方が高いが、前年度との比較においては、小中学校の減少幅が大きい。

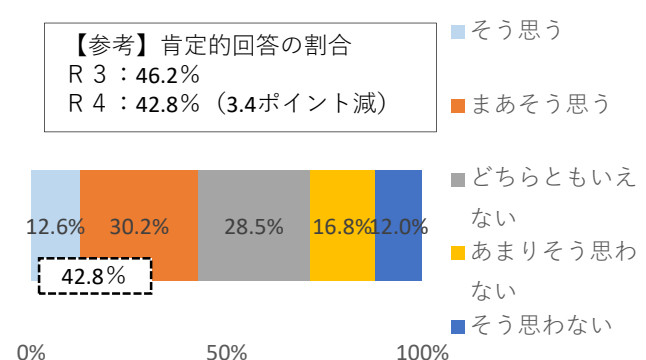
(R4内訳：県立)



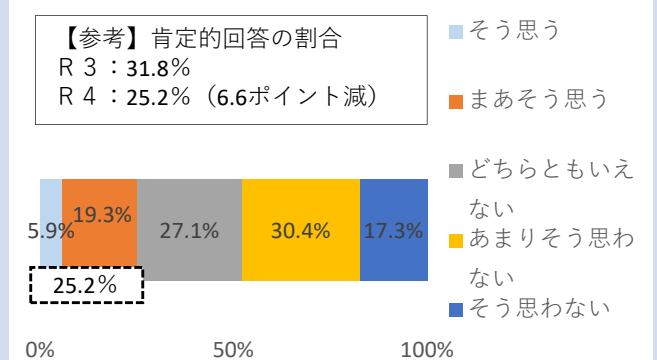
(R4内訳：県立)



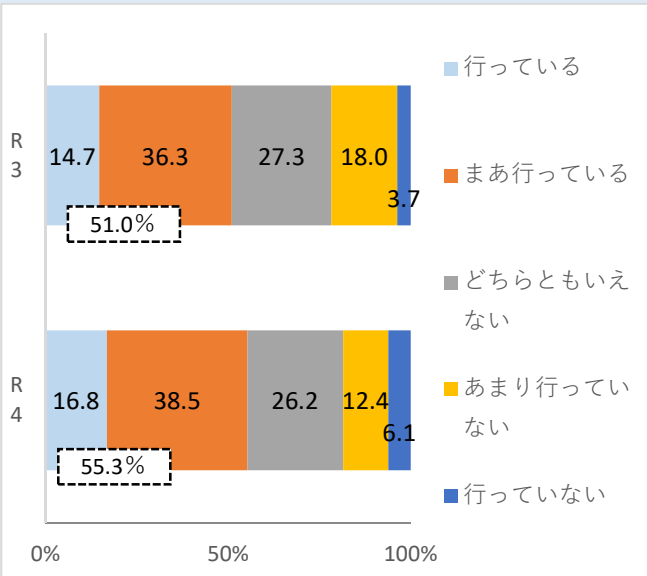
(R4内訳：小中)



(R4内訳：小中)

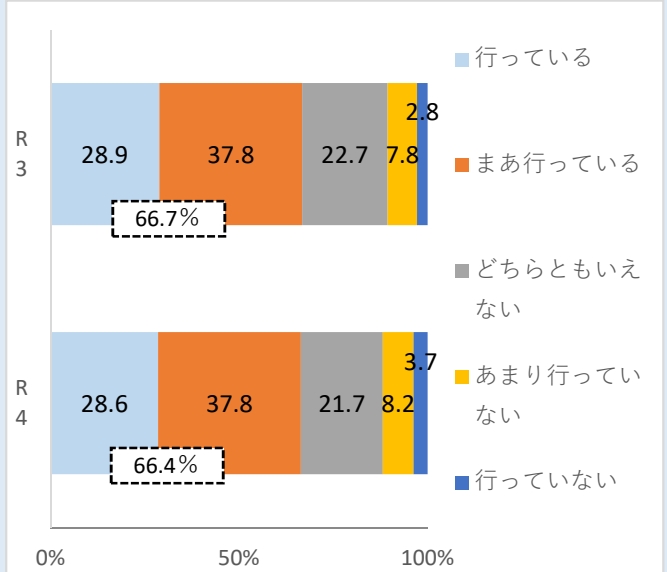


問B-18 あなたは職場において自分なりの働き方改革の取組を実践していますか



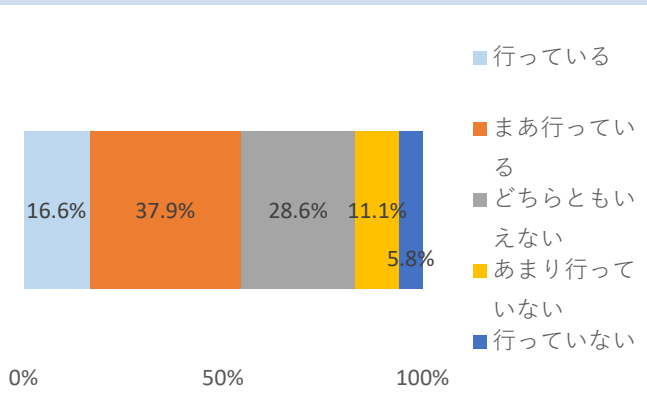
○ 教職員自身が自分なりの働き方改革を実践している割合は約55%と増加傾向にある。(前年度より4.3ポイント増)

問B-19 職場において、管理職が率先して働き方改革の取組の呼掛けや実践を行っていますか

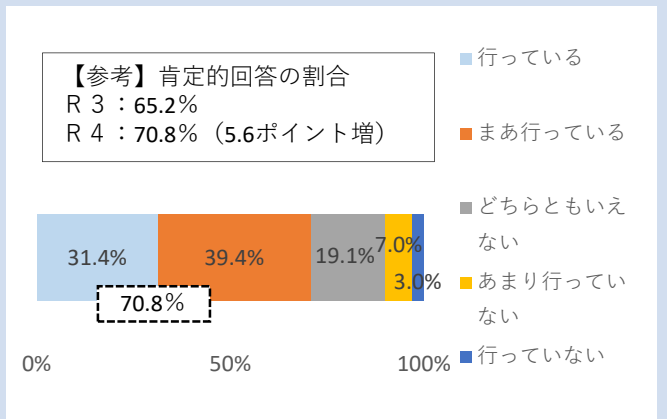


○ 管理職の声掛けや実践が行われていると感じている割合は、約66%と前年度と同程度であるが、校種別にみると、県立学校では増加(5.6ポイント増)しているが、小中学校では減少(6.5ポイント減)している。

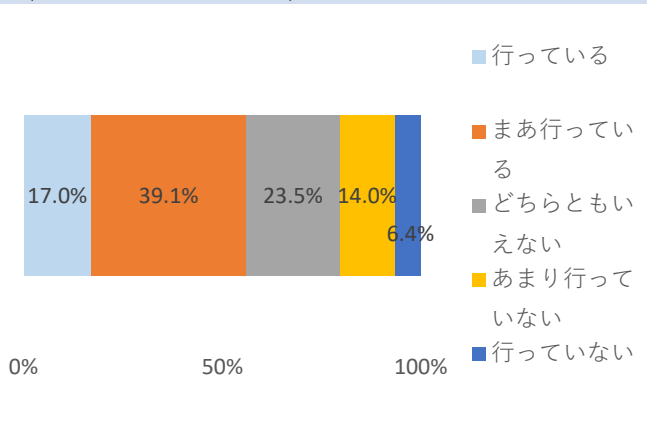
(R4内訳：県立)



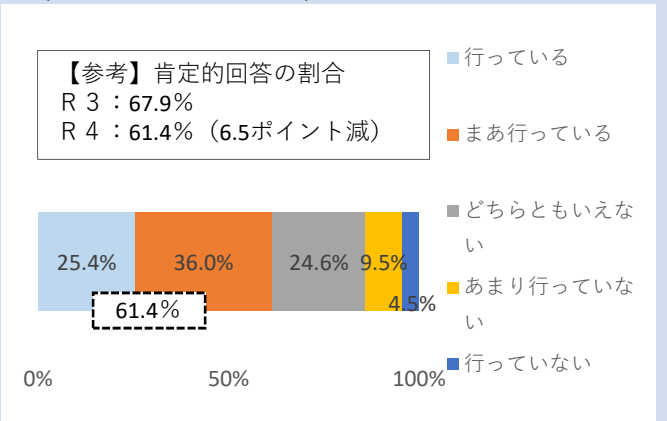
(R4内訳：県立)



(R4内訳：小中)



(R4内訳：小中)



【アンケート結果の傾向】

① プラン目標に関連するアンケート項目

【全体】

令和3年度アンケート結果と比較して、「岩手県教職員働き方改革プラン（2021～2023）」（プラン）の目標となっているアンケート項目はいずれも減少しており、県全体の学校の働き方改革に向けた取組の効果が十分に発現していない。

【全体】	R3	R4	R3比
問B-1「現在の業務にやりがいを感じている」	87.6%	87.3%	△0.3
問B-5「授業や授業準備に集中できている」	58.4%	58.2%	△0.2
問B-12「健康でいきいきと業務を行っている」	57.2%	54.2%	△3.0

【参考】

【校種別分析】

校種別に分析すると以下のとおりであり、全体では3項目全て減少しているが、県立学校では、B-1以外は肯定的回答の割合が増加している一方、小中学校では、同項目において減少している状況であり、全ての校種で必ずしも同じ傾向ではない。

【県立】	R3	R4	R3比
問B-1「現在の業務にやりがいを感じている」	85.2%	85.0%	△0.2
問B-5「授業や授業準備に集中できている」	55.8%	58.0%	2.2
問B-12「健康でいきいきと業務を行っている」	51.9%	55.6%	3.7

【小中】	R3	R4	R3比
問B-1「現在の業務にやりがいを感じている」	89.4%	89.9%	0.5
問B-5「授業や授業準備に集中できている」	60.5%	58.4%	△2.1
問B-12「健康でいきいきと業務を行っている」	61.5%	52.8%	△8.7

【アンケート結果の傾向】

② 時間外勤務（時間外在校等時間）の状況

【全体】

問B-6「時間外勤務時間が多いと感じるか」の項目における「そう思う」「まあそう思う」の回答割合は、前年度よりも若干の減少（△1.6ポイント）となっており、関連項目としての問B-8「家庭のための時間の確保できているか」と問B-9「自分の時間を確保できているか」については、前者は確保できていると回答した割合は、減少している（R3：48.7%→R4：46.6%）のに対し、後者は微増（R3：44.9%→R4：45.3%）している状況であり、明確な相関関係は認められない。

また、問B-7の「時間外勤務の要因」については、全般的に、授業や学級経営等以外の業務が高い割合を占めている状況であり、特に、県立学校や中学校では、「部活動」業務の割合が高い。

【全体】	R3	R4	R3比
問B-6「時間外勤務時間が多いと感じるか」	63.2%	61.6%	△1.6
問B-8「家庭のための時間の確保できているか」	48.7%	46.6%	△2.1
問B-9「自分の時間を確保できているか」	44.9%	45.3%	0.4

【参考】

【校種別分析】

校種別に分析すると以下のとおり。

県立学校では、時間外勤務時間が多いと実感する職員の割合が増加しているが、B-8「家族の時間」の確保は減少、B-9「自分の時間」の確保は増加している。

小中学校では、時間外勤務時間が多いと実感する職員割合は減少しているものの、B-8「家族の時間」及びB-9「自分の時間」を確保できている職員割合は減少しており、全体評価と同様に明確な相関関係が認められない。

【県立】	R3	R4	R3比
問B-6「時間外勤務時間が多いと感じるか」	52.5%	55.2%	2.7
問B-8「家庭のための時間の確保できているか」	52.8%	50.7%	△2.1
問B-9「自分の時間を確保できているか」	44.2%	49.7%	5.5

【小中】	R3	R4	R3比
問B-6「時間外勤務時間が多いと感じるか」	71.8%	68.7%	△3.1
問B-8「家庭のための時間の確保できているか」	45.4%	41.9%	△3.5
問B-9「自分の時間を確保できているか」	45.4%	40.2%	△5.2

【アンケート結果の傾向】

③ 働き方改革プランに基づく取組と取組効果等

【全体】

問B-15で県教委の「働き方改革プラン」の認知を確認したところ、約86%の教職員が認知している状況であるが、一方プラン策定以降における問B-17「負担軽減の実感度」は低い状況。（R3：28.6%→R4：23.4%）

また、問B-19「職場での管理職の働き方改革の声掛け等」は高い割合で実施（66.4%）されているが、問B-16「職場における働き方改革の取組」の実感及び前述の問B-17「負担軽減の実感度」はそれぞれ減少傾向となっており、まだ一層の取組強化が必要である。

【全体】	R3	R4	R3比
問B-15「県の「働き方改革プラン」を知っているか」	81.5%	85.6%	4.1
問B-16「職場において働き方改革の取組が行われているか」	43.1%	41.4%	△1.7
問B-17「R3以降職場の負担軽減が進んでいるか」	28.6%	23.4%	△5.2
問B-19「管理職が率先して取組の呼掛けや実践を行っているか」	66.7%	66.4%	△0.3

【参考】

【校種別分析】

校種別に分析すると以下のとおり。

全体においては、問B-15以外の3項目は減少傾向（要改善）となっているが、校種別にみると、県立学校では、問B-16及び19の2項目は改善している一方、小中学校では問B-15以外の3項目全て取組が改善を要する状況となっている。

【県立】	R3	R4	R3比
問B-15「県の「働き方改革プラン」を知っているか」	82.6%	87.9%	5.3
問B-16「職場において働き方改革の取組が行われているか」	39.2%	40.2%	1.0
問B-17「R3以降職場の負担軽減が進んでいるか」	24.5%	21.9%	△2.6
問B-19「管理職が率先して取組の呼掛けや実践を行っているか」	65.2%	70.8%	5.6

【小中】	R3	R4	R3比
問B-15「県の「働き方改革プラン」を知っているか」	80.6%	83.0%	2.4
問B-16「職場において働き方改革の取組が行われているか」	46.2%	42.8%	△3.4
問B-17「R3以降職場の負担軽減が進んでいるか」	31.8%	25.2%	△6.6
問B-19「管理職が率先して取組の呼掛けや実践を行っているか」	67.9%	61.4%	△6.5